

「語りもんそ」

Vol.35 平成27年 3月31日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
♪♪♪ 日曜の朝にカフェで音楽を ♪♪♪
カフェ ミニコンサート

出演 (公財) 鹿児島県文化振興財団
アーティストバンク登録アーティスト
宝山ホール2階 “カフェ マ・ナ～ナ

毎月1回 日曜日の午前10時30分から11時15分まで開催されています。

(入場料は無料ですが、要ワンオーダー)

●1月25日(日)は、小田原美紀さん(クラリネット)と大迫里会さん(ピアノ)のお二人で、ピエルネ作曲“カンツォネッタ”、サティ作曲“ジュ・トゥ・ヴ”、中山晋平作曲“シャボン玉”、ショパン作曲“ノクターン op.9-2”、大野雄二作曲“ルパン三世のテーマ78”、ラヴェル作曲“ハバネラ形式による小品”、久石譲作曲“崖の上のポニョ”、中村八大作曲“上を向いて歩こう”、新井満作曲“千の風になって”、葉加瀬太郎作曲“情熱大陸”、アンコール曲の中島みゆき作曲“麦の唄”まで11曲が演奏されました。

お客様から「最高ですね！ 生きる元気と喜びを感じる演奏をありがとうございました」

「選曲がとても良かった。こんな間近で大好きな曲の生演奏が聴けて疲れもとれました」などの感想をお聞きすることができました。



小田原美紀さん(クラリネット) 大迫里会さん(ピアノ)

●2月15日(日)は、久保由香理さん(ファゴット)と竹下智子さん(ピアノ)のお二人で、シューベルト作曲“野ばら”、春メドレー「春よ来い」「どこかで春が」「春が来た」、カーペンターズ作曲“Top of the world”、カッチーニ作曲“アヴェ・マリア”、映画「アナと雪の女王」より“雪だるまつくろう”“Let it go”、など12曲とアンコールに“サザエさんメドレー”が演奏されました。



久保由香理さん(ファゴット) 竹下智子さん(ピアノ)

●3月29日(日)は、大山瞳さん(サクソフォン)と岡村ありささん(ピアノ)のお二人で、アンドレ・ギャニオン作曲“めぐり逢い”、フランク・チャーチ

ル作曲“いつか王子様が”、ドビュッシー作曲“月の光”、ロルフ・ラヴランド作曲“ユー・レイズ・ミー・アップ”、“春のメドレー”など10曲とアンコールに“ミュージカル「キャバレー」”が演奏されました。



大山瞳さん(サクソフォン) 岡村ありささん(ピアノ)

○お客様に感想をお聞きしました

・柴田玉代さん 鹿児島市
「季節を感じる選曲と咲き乱れる花を思わせるような演奏に、心穏やかなひと時を過ごさせていただきました。間近で生演奏が聴けるこのミニコンサートを毎月楽しみにしています」



出演者と柴田玉代さん(左から2人目) 内村仁美さん(左から3人目)

ガラ・フェスティバル

ミュージカル

ヤジロウと海乱鬼

1月12日(月・祝) 宝山ホール

鹿屋市の演出家松永太郎さんの作・演出によるオリジナルミュージカルは、キリスト教を日本に布教するきっかけを作った伝説の日本人ヤジロウと商人の息子平太、役人を目指す少女夏凜の3人が薩摩の国鹿児島を舞台に繰り広げる愛と友情の物語で、公募に応じオーディションで選ばれた小学4年生から60代までの40人と、ゲスト出演の鹿児島純心女子中学・高等学校ダンス部のみなさん、宝山ホール

自主事業の演劇講座・日本舞踊講座に参加されたみなさんを含め総勢64人が熱演しました。



公演の一場面



ゲスト出演の鹿児島純心女子中学・高等学校ダンス部のみなさん

○お客様に感想をお聞きしました

・石垣茜さん(高校1年)
「主人公3人の友情にすごく感動しました。友のために自分の命を捨てる平太と、その犠牲を受け入れた夏凜とヤジロウの場面はすごく泣けました」

・岩切知華さん(高校1年)
「想像以上の舞台上で涙が自然と出てきました。観ていてすごく気持ちが伝わってきました」

・岩脇彩音さん(高校1年)
「演劇を観るのは今日で3回目です。同世代の出演者の演技にとっても感動し、私も舞台に立ってみたいと思いました。素晴らしいミュージカルの公演で、またぜひ観たいと思います」



石垣茜さん(左) 岩切知華さん(中央) 岩脇彩音さん(右)

平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

県庁ロビーコンサート

～お昼のひとときにさわやかな音楽を～

1月16日（金）鹿児島県庁舎2階 県民ホール

演奏は（公財）鹿児島県文化振興財団アーティストバンク登録アーティストでマリimba奏者の宇都遼介さん、上別府宙さん、村田朋美さんの3人で、元々オーケストラ曲・ピアノ曲・ヴァイオリン曲であるモーツァルト作曲の“アイネ・クライネ・ナハトムジーク”、セギーニャ・アブロウ作曲“ティコティコ”、リー・ハーライン作曲“星に願いを”、アラン・メンケン作曲“リトル・マーメイドよりアンダーザシー”、いずみたく作曲“見上げてごらん夜の星を”、バッハ作曲“インベンション8番”、パッヘルベル作曲“カノン”、フレデリック・ロウ作曲“踊り明かそう”の8曲を3人でマリimba用に編曲し、その豊かな深い音色に会場を訪れた多くのお客様はお昼のひと時を心地よい音楽で過ごされました。



上別府宙さん（左）村田朋美さん（中央）宇都遼介さん（右）

NHK交響楽団演奏会 鹿児島公演

3月4日（水） 宝山ホール

約1か月前にチケットが完売した公演は、ロッシェニ作曲 歌劇「シンデレラ」序曲、メンデルスゾーン作曲 ヴァイオリン協奏曲ホ短調作品64、ドボルザーク作曲 交響曲第8番ト長調作品88が演奏されました。

○お客様に感想をお聞きしました

・青木佐織さん 鹿児島市
「テレビで見る方を生で見て感動しました。ヴァイオリンの竹澤恭子さんのソロはとっても素敵でした。

ソリストアンコールのバッハ作曲“無伴奏ヴァイオリン パルティータBWV1006からⅢ：ガヴォット”が聴けて感激し、オーケストラ演奏は下野竜也さんの指揮と演奏者が一体化したとても感動的な公演でした。アンコールのメンデルスゾーン作曲“交響曲第5番「宗教改革」から第3楽章”を聴けたのも嬉しかったです

・青木真愛澗さん（中学1年） 鹿児島市
「ヴァイオリンの竹澤恭子さんのソロは軽やかだけど強い変化もありとても感動しました。

下野竜也さんの飛び上がりながらの楽しそうな指揮に気持ちが伝わり、私も最高に盛り上がりました」



青木佐織さん（左） 青木真愛澗（まあれ）さん（右）

平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

人形浄瑠璃 文楽 講座

2月8日（日） 宝山ホール 第1リハーサル室

文楽の基礎知識（太夫・三味線・人形）を、

- ・豊竹靖大夫さん（人形浄瑠璃文楽座・太夫）
- ・鶴澤清志郎さん（人形浄瑠璃文楽座・三味線）
- ・吉田玉佳さん、吉田玉勢さん、桐竹勘介さん（人形浄瑠璃文楽座・人形）

から歴史とともに魅力を解りやすく学びました。

実演は「雅楽之介の注進」「お園のクドキ」があり太夫・三味線・人形が一体となった総合芸術を楽しみました。



講座での実演

○お客様に感想をお聞きしました

・上畑由美子さん

「人形浄瑠璃に前から興味があり、一年ほど前に機会に恵まれ“古浄瑠璃”を楽しむようになった知人と“文楽”も観てみたいとよく話していました。今回講座に参加して“古浄瑠璃”では知り得なかった“太夫”“三味線”“人形”の道具や所作、技術などが細かく解説され大変興味深かったとともに、その魅力に圧倒されました。特に“古浄瑠璃”と比較したことで、“文楽”が浄瑠璃の中でも極めて洗練された芸能であることがよく分かりました。また浄瑠璃はもともと“大人が楽しむ芸能であった”という言葉が印象に残りました。それこそが浄瑠璃の神髄なのだろうと感じました」



上畑由美子さん(左) 吉田玉佳さん(中央) 林優生乃さん(右)

人形浄瑠璃 文楽

昼夜2回公演

3月22日(日) かごしま県民交流センター 県民ホール

昼夜2回公演の演目は

【昼の部】

- ・ 曾根崎心中 生玉社前の段
天満屋の段
澤村龍之介振付 天神森の段
- ・ 義経千本桜 道行初音旅

【夜の部】

- ・ 菅原伝授手習鑑 寺入りの段
寺子屋の段
- ・ 榎茂都陸平振付 釣女

※上演前に演目の内容や見所の解説もありました。



義経千本桜 道行初音旅の一場面



釣り女の一場面

○お客様に感想をお聞きしました

・林 優生乃さん

始良市

「日本の伝統芸能に興味があり、知人からの誘いで“古浄瑠璃”を観るようになった縁で今回文楽講座と公演を観ることができてよかったです。人形遣い、太夫さん、三味線が創りだす世界観に引き込まれて、物語が現代にも通じる“あるある”に親近感を抱きました。人の演技とは違う人形ならではのイメージの膨らませ方ができることも知り、昔の人の表現力の広さと、その伝統を受け継いでいる方々の、技術の高さにとても感動しました」



吉田裳紫郎さん(左) 林優生乃さん(中央) 桐竹勘介さん(右)

宝山ホール広報ボランティア 『語いもんそ』編集部

〒892-0816 鹿児島市山下町5-3 宝山ホール

電話 (099)223-4221 FAX (099)223-2503

撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住 孝行